



×アベノミクス
○ア~~メ~~ノミクス

シリーズ「神の国」 2013/6/23

マタイ福音書6章25～34節

だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思いい悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。あなたがたのうちだれが、思いい悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思いい悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。

しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

アベノミクス

- + 安倍晋三首相が推し進める経済政策
 - + 「安倍」+「エコノミクス(経済論)」
- + 「三本の矢」の政策
 - + 大胆な金融政策<銀行>・機動的な財政政策<政府>
民間投資を喚起する成長戦略<企業>
- + 個別の政策
 - + 2%のインフレ目標・円高の是正・無制限の量的緩和・大規模な公共投資(国土強靱化)など
- + 「経済成長」によって国の赤字を減らす

×「成長」○「成熟」

- + 「成長」しなければ国が成り立たないのであれば、永久に成長し続けなければならない
 - + 「経済成長」とは「使うお金が増える」こと
- + すべての生き物は「成長」の後「**成熟**」する
 - + 植物: 芽→莖→葉→花(成長)→実(成熟)
 - + 人間は20歳頃まで成長し、後は成熟する
- + 限られたお金でどう幸せに生きていくかが課題
 - + この国は生きていくために十分なお金を手に入れた
 - + 「成長」は終わった。次は「成熟」。

「成長戦略」の恐ろしさ

- + なぜうつ病が急増しているのか？
 - + 平成8年43万人→平成20年104万人
 - + 12年間で2.4倍
- + 「～しなければならぬ」と思いやすい人はうつ病になりやすい
 - + うつ病になりやすい「10の認知パターン」
- + 成長しなければならぬという思い込み
 - + アベノミクスへの期待の背景にある恐怖
 - + 「進まなければ倒れる」のか？

「アメノミクス」

- + 生活のこと＝お金のことで思い悩むな
- + 「三本の矢」の政策
 - + 「あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる」
＜神の国銀行＞
 - + 「あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである」＜神の国政府＞
 - + 「明日のことは明日自らが思い悩む」＜神の国企業＞
- + 「アメ(天)」のエコノミクス(経済論)
 - + 成長しなくても大丈夫！

「アメノミクス」による「成熟」

- + 追い求めなければならないのは「神の国」と「神の義」
 - + 「人の国」を富ませるのではなく、「神の国」を富ませる
 - + 「人の義」は変化する、「神の義」は変わらない
- + どうやって「神の国」を富ませるのか
 - + 愛の実践によって神の国は富んでゆく
 - + 「神の国」の通貨は「円」ではなく「縁」
- + 成熟を目指せば必要は満たされる!
 - + 「そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」